

シラス船曳網に混獲されたタチウオ稚魚 の漁獲記録(短報)

渡邊昌人・鈴木馨

Catch Record of Cutlass Fish *Trichiurus lepturus* Juvenile
 by Boat Seine Fishery for Young Sardines (Short Paper)

Masato WATANABE and Kaoru SUZUKI

1999年11月10日、四倉漁業協同組合魚市場に水揚げされたシラスにタチウオ稚魚が混獲していた。水揚げした漁船名は四倉漁業協同組合所属の稻荷丸、漁場は四倉沖18mであった。サンプルはシラスおよびタチウオ稚魚が混在する形で入手し、そのうちのタチウオ稚魚100個体に対して全長、体重を測定した。全長および体重の平均値、最大値、最小値を表1、全長の階級別個体数を表2、体重の階級別個体数を表3、全長の組成図を図1および体重の組成図を図2に示す。

表1 タチウオ稚魚測定値の平均、最大および最小

	平 均	最 大	最 小
全長 (mm)	63.98	116.6	37.04
体重 (g)	0.176	0.653	0.046

表2 タチウオ稚魚全長の階級別個体数

全長階級 (mm)	個 体 数
30~35	0
35~40	1
40~45	3
45~50	6
50~55	19
55~60	11
60~65	14
65~70	20
70~75	9
75~80	9
80~85	2
85~90	0
90~95	3
95~100	2
100~105	0
105~110	0
110~115	0
115~120	1
120~125	0

※ 階級は $a < X \leq b$

表3 タチウオ稚魚体重の階級別個体数

体重階級 (g)	個 体 数
0.00~0.05	1
0.05~0.10	15
0.10~0.15	26
0.15~0.20	30
0.20~0.25	17
0.25~0.30	4
0.30~0.35	2
0.35~0.40	2
0.40~0.45	1
0.45~0.50	0
0.50~0.55	1
0.55~0.60	0
0.60~0.65	0
0.65~0.70	1
0.70~0.75	0

※ 階級は $a < X \leq b$

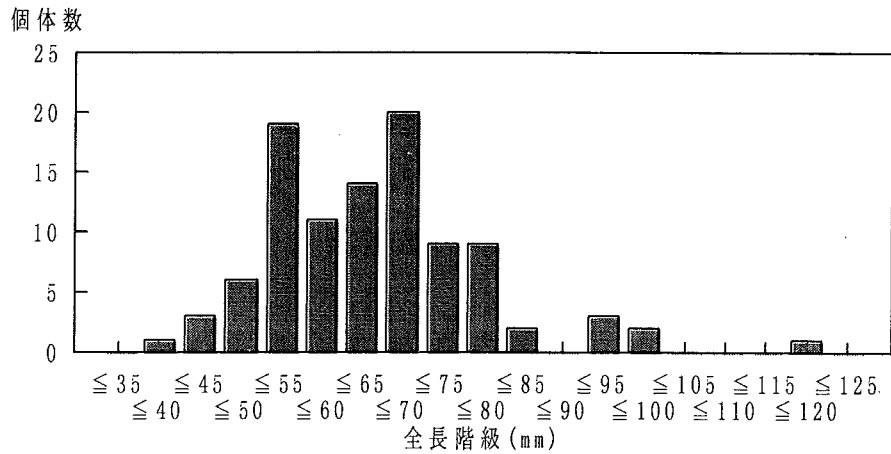


図1 タチウオ稚魚全長の組成図

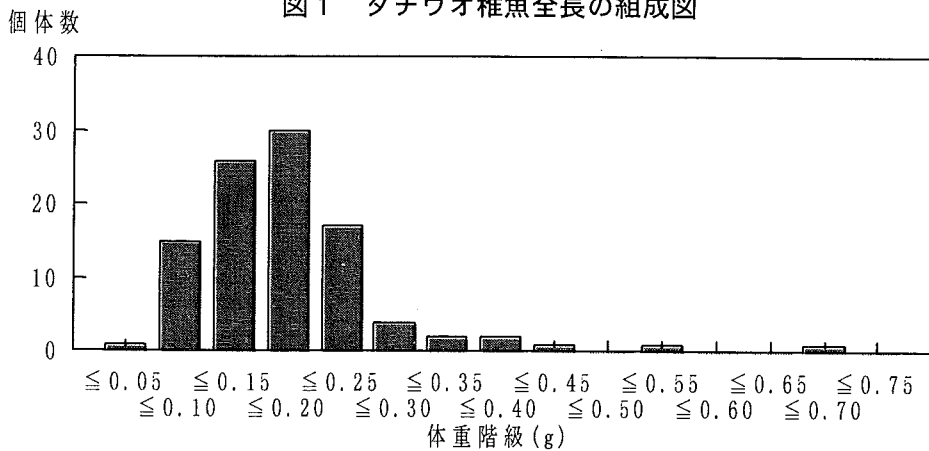


図2 タチウオ稚魚体重の組成図

タチウオはスズキ目、サバ亜目、タチウオ科の魚で本州中部以南の暖海に多く分布するとされている¹⁾。産卵期は館山湾や駿河湾で7～11月、全長40mm前後で背鰭条数が成魚と同じになり、生後1年で12cm前後になる²⁾。11月時点で平均全長が64mmであったことから、これらタチウオは成魚と同じ形態をした1999年生まれの稚魚であると言える。

文 献

- 1) 北隆館：新日本動物図鑑、[下]、1965、pp256.
- 2) 阿部宗明・本間昭郎：現代おさかな事典 漁場から食卓までMODERN ENCYCLOPEDIA OF FISH、エヌ・ティー・エス、東京、1997、pp479-480.